

邁進する物流企業

「運転はエコドライバー 車両はグリーン経営車」

講習で全体のレベル底上げ



壁にずらりと並んだエコドライブ講習の修了証

付けている。

社内管理体はドライバーのグループごとにエコリーダーがあり、運転方法や車両点検などを教行している。神奈川県トラック協会が実施する経営者向け、運行管理者向け、ドライバー向けエコドライブ講習も全て受講させている。

安全意識高める

さらに2か月に一度、社長が作成したエコドライブとグリーン経営に関するテスト問題を全ドライバーに実施している。テストは軽油使用を1割減らすとCO2排出量は何割少なくなるか」など運輸部門の環境対策やエコドライブ方法の知識を問う内容だ。

毎回、題う内容で社長が問題作成と採点をし、点数が悪いドライバーには個別で指導する。これは配送先で、荷主からグリーン経営について質問をされた時にも答えられるように実施しているという。

荷主に対してもグリーン購入法とグリーン経営認証について説明したチラシを配布するなどして認知度を高める努力をしている。

中田社長は「グリーン経営認証取得は、社内全体を巻き込んでやるのにはいい制度」と話している。「ドライバーの励みになるから」と今年は環境再生保全機構のエコドライブコンテストにも参加している。

（千葉由之）

松本商会 中田博信社長



2か月に1回、エコドラとグリーン経営に関するテストを自ら作成している。

冷凍冷蔵車で関東一門に運送事業を展開する松本商会（中田博信社長、神奈川県藤原市）は2008年にグリーン経営認証を取得。環境にやさしい輸送サービスを提供する同社は、さらにドライバー全員が交通エコモ財財協会のエコドライブ講習を修了している。中田社長は「運転者はエコドライバー、車両はグリーン経営車」と呼んでいる。

事務所に並べられたエコドライブ講習修了証が、同社の環境取り組みの証だ。順番に受講させ約1年で全員が修了した。新たに採用したドライバーに対して、入社前にエコドライブ講習を受講することを義務